

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【公表番号】特表2012-508996(P2012-508996A)
【公表日】平成24年4月12日 (2012.4.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-015
【出願番号】特願2011-535574(P2011-535574)
【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月28日 (2012.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のユーザから、第 1 のメディアアセットへのアクセスを制限する第 1 の動作を受信することと、

第 2 のメディアアセットに対して行われる第 2 の動作を受信することであって、該第 2 のアセットは、該第 1 のアセットの属性と同様である 1 つ以上の属性を有する、ことと、

該第 1 の動作が、該第 2 のアセットのアクセス可能性と一致しないことを検出することによって、該第 1 の動作と該第 2 の動作との間の不一致を検出することと、

該第 1 の動作と該第 2 の動作との間の該不一致に関して該第 1 のユーザに警告することと

を含む、方法。

【請求項 2】

いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ、または、いずれかまたは両方のアセットと関連するスポンサに、検出した不一致を報告することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

いずれかまたは両方のアセットに関して以前に送信された他のレポートを視認する選択肢を、前記第 1 のユーザに提供することをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 の動作は、ユーザによって行われる動作である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 の動作は、前記第 1 のユーザとは異なる第 2 のユーザによって行われる動作であり、前記第 1 の動作と第 2 の動作との間の不一致を検出することは、該第 1 のユーザと関連する第 1 のプロフィールを、該第 2 のユーザと関連する第 2 のプロフィールと比較することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 の動作は、利用可能なアセットのデータベースへの前記第 2 のアセットの追加、または該第 2 のアセットの 1 つ以上の属性の修正である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の動作を逆転させるように前記第 1 のユーザを促すことをさらに含む、請求項

1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 の動作に起因する変更の適正な一部を取り消すように前記第 1 のユーザを促すことをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 のユーザが前記第 2 のアセットへのアクセスを制限することを可能にすることを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記不一致を検出することは、

メモリから前記第 1 のアセットと関連する第 1 の一式の属性を取り出すことと、

複数のアセットの間で、該第 1 の一式の属性と同様である 1 つ以上の属性を有する前記第 2 のアセットを検索することと、

前記第 1 の動作を、該第 2 のアセットに関して行われる前記第 2 の動作と比較することと、

該比較および同様である該 1 つ以上の属性に基づいて、該第 1 の動作が該第 2 の動作と一致しないかどうかを決定することと

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

制御回路を備えるシステムであって、

該制御回路は、

第 1 のユーザから、第 1 のメディアアセットへのアクセスを制限する第 1 の動作を受信することと、

第 2 のメディアアセットに対して行われる第 2 の動作を受信することであって、該第 2 のアセットは、該第 1 のアセットの属性と同様である 1 つ以上の属性を有する、ことと、

該第 1 の動作と該第 2 の動作との間の不一致を検出することであって、該第 1 の動作が該第 2 の動作のアクセス可能性と一致しないことを検出することを含む、ことと、

該第 1 の動作と該第 2 の動作との間の該不一致に関して該第 1 のユーザに警告することと

を行うように、構成される、システム。

【請求項 12】

前記制御回路は、いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ、または、いずれかまたは両方のアセットと関連するスポンサに、前記検出した不一致を報告するようにさらに構成される、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記制御回路は、いずれかまたは両方のアセットに関して以前に送信された他のレポートを視認する選択肢を、前記第 1 のユーザに提供するようにさらに構成される、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記第 2 の動作は、ユーザによって行われる動作である、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記第 2 の動作は、該第 1 のユーザとは異なる第 2 のユーザによって行われる動作であり、

前記制御回路はさらに、該第 1 のユーザと関連する第 1 のプロファイルを、該第 2 のユーザと関連する第 2 のプロファイルと比較するように構成される、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記第 2 の動作は、利用可能なアセットのデータベースへの前記第 2 のアセットの追加、または該第 2 のアセットの 1 つ以上の属性の修正である、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記制御回路は、前記第1の動作を逆転させるように前記第1のユーザを促すようにさらに構成される、請求項11に記載のシステム。

【請求項 18】

前記制御回路は、前記第1の動作に起因する変更の適正な一部を取り消すよう前記第1のユーザを促すようにさらに構成される、請求項11に記載のシステム。

【請求項 19】

前記制御回路は、前記第1のユーザが、前記第2のアセットへのアクセスを制限することを可能にするように構成される、請求項11に記載のシステム。

【請求項 20】

前記制御回路は、

メモリから前記第1のアセットに関連する第1の一式の属性を取り出すことと、

複数のアセットの間で、該第1の一式の属性と同様である1つ以上の属性を有する前記第2のアセットを検索することと、

前記第1の動作を、前記第2のアセットに関して行われる前記第2の動作と比較することと、

該比較および同様である該1つ以上の属性に基づいて、該第1の動作が該第2の動作と一致しないかどうかを決定することと

を行うようにさらに構成される、請求項11に記載のシステム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

ユーザは、第2のデバイスを通してコンピュータによってホストされたウェブサイトにごログインし得る。コンピュータは、ユーザに関連するフィードバック キューまたはメモリの中のフィードバック要求入力の内容を検出し得る。コンピュータは、フィードバック要求入力のうちの1つ以上を取り出し、第2のデバイスにフィードバック要求を提供し得る。ユーザは、ウェブサイトを通して、第2のデバイスにおける特定のフィードバック要求入力に関連するアセットに関する フィードバックを提供するように、第2のデバイスにおいて促され得る。ユーザは、ウェブサイト形態で種々のフィードバック選択肢（テキスト入力フィールドを含む）を選択することによって、アセットに関する詳細なフィードバックを提供し得る。フィードバックは、アセットのメディアプロバイダに、および/またはアセットに関連する任意のスポンサまたは広告主に提供され得る。

本発明は、例えば、以下の項目を提供する。

(項目1)

第1のユーザから、第1のメディアアセットへのアクセスを制限する第1の動作を受信することと、

第2のメディアアセットに対して行われる第2の動作を受信することであって、該第2のアセットは、該第1のアセットの属性と同様である1つ以上の属性を有する、ことと、

該第1の動作が、該第2のアセットのアクセス可能性と一致しないことを検出することによって、該第1の動作と該第2の動作との間の不一致を検出することと、

該第1の動作と該第2の動作との間の該不一致に関して該第1のユーザに警告することと

を含む、方法。

(項目2)

いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ、または、いずれかまたは両方のアセットに関連するスポンサに、検出した不一致を報告することをさらに含む、項目1

に記載の方法。

(項目3)

いずれかまたは両方のアセットに関して以前に送信された他のレポートを視認する選択肢を、前記第1のユーザに提供することをさらに含む、項目2に記載の方法。

(項目4)

前記第2の動作は、ユーザによって行われる動作である、項目1に記載の方法。

(項目5)

前記第2の動作は、前記第1のユーザとは異なる第2のユーザによって行われる動作であり、前記第1の動作と第2の動作との間の不一致を検出することは、該第1のユーザと関連する第1のプロファイルを、該第2のユーザと関連する第2のプロファイルと比較することを含む、項目1に記載の方法。

(項目6)

前記第2の動作は、利用可能なアセットのデータベースへの前記第2のアセットの追加、または該第2のアセットの1つ以上の属性の修正である、項目1に記載の方法。

(項目7)

前記第1の動作を逆転させるように前記第1のユーザを促すことをさらに含む、項目1に記載の方法。

(項目8)

前記第1の動作に起因する変更の適正な一部を取り消すように前記第1のユーザを促すことをさらに含む、項目1に記載の方法。

(項目9)

前記不一致の理由に関する情報を供給するようにユーザを促すことをさらに含む、項目1に記載の方法。

(項目10)

前記情報を供給するようにユーザを促すことは、複数のフィードバック選択肢を表示することを含み、前記方法はさらに、該フィードバック選択肢のうちの少なくとも1つのユーザ選択を受信することを含む、項目9に記載の方法。

(項目11)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも1つは、前記第1または第2のアセットに関するフィードバックを提供し、該フィードバック選択肢は、猥褻、評定の不正確性または不適切性、少数派または女性にとっての不快、宗教的不寛容、差別、動物虐待、および不道徳に関する選択肢から成る群より選択される、項目10に記載の方法。

(項目12)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも1つは、前記ユーザが前記第1または第2のアセットに対する評定または副評定を提案することを可能にする、項目10に記載の方法。

(項目13)

ユーザから前記不一致の理由に関する情報を受信することと、

いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ、または、いずれかまたは両方のアセットと関連するスポンサに、該受信した情報を供給することと
をさらに含む、項目1に記載の方法。

(項目14)

前記第1のユーザが前記第2のアセットへのアクセスを制限することを可能にする
ことを含む、項目1に記載の方法。

(項目15)

前記第1のアセットの属性と同様である前記第2のアセットの属性は、評定、副評定、ジャンル、シリーズのメンバーシップ、お気に入りのメンバーシップ、ブックマークした状態、タグ付けした状態、DVR視聴状態、サービスの種類、チャネル関連性、ウェブサイト関連性、または一般視聴状態である、項目1に記載の方法。

(項目16)

前記第 2 のアセットの属性は、前記第 1 のアセットの属性の値と同等である値を有する、項目 1 5 に記載の方法。

(項目 1 7)

前記第 1 のアセットの属性と同様である前記第 2 のアセットの属性は、前記第 1 のアセットに対して、フィードバックが以前に提供されているかどうかを示す状態である、項目 1 に記載の方法。

(項目 1 8)

前記第 2 の動作は、不動作である、項目 1 に記載の方法。

(項目 1 9)

前記不動作は、前記第 2 のアセットへのアクセスを制限しないことを含む、項目 1 8 に記載の方法。

(項目 2 0)

前記不一致を検出することは、

メモリから前記第 1 のアセットに関連する第 1 の一式の属性を取り出すことと、

複数のアセットの間で、該第 1 の一式の属性と同様である 1 つ以上の属性を有する前記第 2 のアセットを検索することと、

前記第 1 の動作を、該第 2 のアセットに関して行われる前記第 2 の動作と比較することと、

該比較および同様である該 1 つ以上の属性に基づいて、該第 1 の動作が該第 2 の動作と一致しないかどうかを決定することと

を含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 2 1)

前記第 1 の動作を前記第 2 の動作と比較することは、

前記第 1 のアセットに対する第 1 のアクセス制限を設定することと、

前記第 2 のアセットが該第 1 のアクセス制限と同様のアクセス制限を含むかどうかを決定することと

を含む、項目 2 0 に記載の方法。

(項目 2 2)

前記第 1 のアセットおよび前記第 2 のアセットに対応するアセット制限情報は、それぞれのアセット特性データ構造のフィールドに記憶される、項目 2 1 に記載の方法。

(項目 2 3)

ウェブサイトと関連するコンピュータに、前記不一致に関するフィードバックがユーザによって提供されることを示す電子通信を伝送することをさらに含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 2 4)

前記電子通信は、前記ユーザおよび前記第 1 のアセットを識別する、項目 2 3 に記載の方法。

(項目 2 5)

前記電子通信は、さらなるフィードバックを提供する選択肢のユーザ選択に応答して、テレビ機器デバイスから伝送される、項目 2 3 に記載の方法。

(項目 2 6)

前記不一致に関するフィードバックは、テキスト形式で前記ユーザによって前記ウェブサイト提供される、項目 2 3 に記載の方法。

(項目 2 7)

第 1 のユーザ機器デバイスのユーザからメディアアセットに関するフィードバックを受信する方法であって、

コンピュータにおいて、第 1 の電子通信を受信することであって、該コンピュータは、ウェブサイトと関連し、該第 1 のユーザ機器デバイスから遠隔にある、ことと、

該第 1 の電子通信の受信に応答して、該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示すデータを記憶することと、

該ユーザが第 2 のユーザ機器デバイスで該ウェブサイトアクセスしたことを検出することと、

該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示すデータが記憶されているかどうかを決定することと、

該決定に応答して、該メディアアセットのフィードバックについて該ユーザを促す第 2 の電子通信を該第 2 のユーザ機器デバイスに提供することと、

該第 2 のユーザ機器デバイスから該メディアアセットのフィードバックを受信することと

を含む、方法。

(項目 2 8)

前記メディアアセットのフィードバックが前記ユーザによって提供されることを示すデータを記憶することは、フィードバックキューに入力を追加することを含み、該入力は、該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示す該データに対応する情報を含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 2 9)

前記ユーザが前記第 2 のユーザ機器デバイスで前記ウェブサイトアクセスしたことを検出することは、該第 2 のユーザ機器デバイスにおいて、メディアアセットのフィードバックを提供する選択肢を表示することを含み、前記方法はさらに、

前記ユーザから、該フィードバックを提供する選択肢の選択を受信することを含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 0)

前記メディアアセットのフィードバックが前記ユーザによって提供されることを示すデータが記憶されているかどうかを決定することは、

少なくとも 1 つの入力が前記フィードバックキューに追加されているかどうかを決定することであって、該少なくとも 1 つの入力は、該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示す該データに対応する情報を含む、ことと、

該フィードバックキューから該少なくとも 1 つの入力を取り出すこととを含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 1)

前記第 1 の電子通信は、前記ユーザの識別子と、前記メディアアセットの識別子とを含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 2)

前記メディアアセットの前記識別子は、前記メディアアセットのタイトルを含む、項目 3 1 に記載の方法。

(項目 3 3)

前記メディアアセットのフィードバックは、テキスト形式で前記第 2 のユーザ機器デバイスから受信される、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 4)

前記第 2 の電子通信は、前記メディアアセットのタイトルと、該メディアアセットの承認または不承認の理由を表すフィードバックを前記ユーザから受信するためのフィードバックフィールドとを含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 5)

前記第 2 の電子通信は、Eメールまたはテキストメッセージである、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 6)

前記第 2 の電子通信は、いずれかまたは両方のアセットを表す写真またはビデオクリップを含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 7)

前記メディアアセットのフィードバックについて前記ユーザを促すことは、該メディアアセットのフィードバックを要求する視聴者に対する警告を表示することを含む、項目 2

7 に記載の方法。

(項目 3 8)

前記フィードバックを受信することは、複数のフィードバック選択肢を前記第 2 のユーザ機器デバイス上で表示することと、該フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つを選択することを含む、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 9)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つは、前記ユーザが前記メディアアセットの承認または不承認の理由を表すことを可能にするためのテキスト入力フィールドを含む、項目 3 8 に記載の方法。

(項目 4 0)

制御回路を備えるシステムであって、

第 1 のユーザから、第 1 のメディアアセットへのアクセスを制限する第 1 の動作を受信することと、

第 2 のメディアアセットに対して行われる第 2 の動作を受信することであって、該第 2 のアセットは、該第 1 のアセットの属性と同様である 1 つ以上の属性を有する、ことと、

該第 1 の動作と該第 2 の動作との間の不一致を検出することであって、該第 1 の動作が該第 2 の動作のアクセス可能性と一致しないことを検出することを含む、ことと、

該第 1 の動作と該第 2 の動作との間の該不一致に関して該第 1 のユーザに警告することと

を行うように、構成される、システム。

(項目 4 1)

前記制御回路は、いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ、または、いずれかまたは両方のアセットと関連するスポンサに、前記検出した不一致を報告するようにさらに構成される、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 2)

前記制御回路は、いずれかまたは両方のアセットに関して以前に送信された他のレポートを視認する選択肢を、前記第 1 のユーザに提供するようにさらに構成される、項目 4 1 に記載のシステム。

(項目 4 3)

前記第 2 の動作は、ユーザによって行われる動作である、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 4)

前記第 2 の動作は、該第 1 のユーザとは異なる第 2 のユーザによって行われる動作であり、

前記制御回路はさらに、該第 1 のユーザと関連する第 1 のプロフィールを、該第 2 のユーザと関連する第 2 のプロフィールと比較するように構成される、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 5)

前記第 2 の動作は、利用可能なアセットのデータベースへの前記第 2 のアセットの追加、または該第 2 のアセットの 1 つ以上の属性の修正である、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 6)

前記制御回路は、前記第 1 の動作を逆転させるように前記第 1 のユーザを促すようにさらに構成される、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 7)

前記制御回路は、前記第 1 の動作に起因する変更の適正な一部を取り消すよう前記第 1 のユーザを促すようにさらに構成される、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 8)

前記制御回路は、前記不一致の理由に関する情報を供給するようユーザを促すようにさらに構成される、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 4 9)

表示デバイスをさらに備え、前記制御回路は、複数のフィードバック選択肢を該表示デ

バイス上で表示し、前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも１つのユーザ選択を受信するようにさらに構成される、項目４８に記載のシステム。

(項目５０)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも１つは、前記第１または第２のアセットに関するフィードバックを提供し、該フィードバック選択肢は、猥褻、評定の不正確性または不適切性、少数派または女性にとっての不快、宗教的不寛容、差別、動物虐待、および不道德に関する選択肢から成る群より選択される、項目４９に記載のシステム。

(項目５１)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも１つは、前記ユーザが前記第１または第２のアセットに対する評定または副評定を提案することを可能にする、項目４９に記載のシステム。

(項目５２)

前記制御回路は、

ユーザから前記不一致の理由に関する情報を受信し、

いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ、または、いずれかまたは両方のアセットと関連するスポンサに、該受信した情報を供給するようにさらに構成される、項目４０に記載のシステム。

(項目５３)

前記制御回路は、前記第１のユーザが、前記第２のアセットへのアクセスを制限することを可能にするように構成される、項目４０に記載のシステム。

(項目５４)

前記第１のアセットの属性と同様である前記第２のアセットの属性は、評定、副評定、ジャンル、シリーズのメンバーシップ、お気に入りのメンバーシップ、ブックマークした状態、タグ付けした状態、ＤＶＲ視聴状態、サービスの種類、チャンネル関連性、ウェブサイト関連性、または一般視聴状態である、項目４０に記載のシステム。

(項目５５)

前記第２のアセットの属性は、前記第１のアセットの属性の値と同等である値を有する、項目５４に記載のシステム。

(項目５６)

前記第１のアセットの属性と同様である前記第２のアセットの属性は、該第１のアセットに対して、フィードバックが以前に提供されているかどうかを示す状態である、項目４０に記載のシステム。

(項目５７)

前記第２の動作は、不動作である、項目４０に記載のシステム。

(項目５８)

前記不動作は、前記第２のアセットへのアクセスを制限しないことを含む、項目５７に記載のシステム。

(項目５９)

前記制御回路は、

メモリから前記第１のアセットと関連する第１の一式の属性を取り出すことと、

複数のアセットの間で、該第１の一式の属性と同様である１つ以上の属性を有する前記第２のアセットを検索することと、

前記第１の動作を、前記第２のアセットに関して行われる前記第２の動作と比較することと、

該比較および同様である該１つ以上の属性に基づいて、該第１の動作が該第２の動作と一致しないかどうかを決定することと

を行うようにさらに構成される、項目４０に記載のシステム。

(項目６０)

前記制御回路は、

前記第１のアセットに対する第１のアクセス制限を設定し、

前記第 2 のアセットが該第 1 のアクセス制限と同様のアクセス制限を含むかどうかを決定するようにさらに構成される、

項目 5 9 に記載のシステム。

(項目 6 1)

前記第 1 のアセットおよび前記第 2 のアセットに対応するアセット制限情報は、それぞれのアセット特性データ構造のフィールドに記憶される、項目 6 0 に記載のシステム。

(項目 6 2)

前記制御回路は、ウェブサイトと関連するコンピュータに、前記不一致に関するフィードバックがユーザによって提供されることを示す電子通信を伝送するようにさらに構成される、項目 4 0 に記載のシステム。

(項目 6 3)

前記電子通信は、前記ユーザおよび前記第 1 のアセットを識別する、項目 6 2 に記載のシステム。

(項目 6 4)

前記電子通信は、さらなるフィードバックを提供する選択肢のユーザ選択に応答して、テレビ機器デバイスから伝送される、項目 6 2 に記載のシステム。

(項目 6 5)

前記不一致に関するフィードバックは、テキスト形式で前記ユーザによって前記ウェブサイト提供される、項目 6 2 に記載のシステム。

(項目 6 6)

第 1 のユーザ機器デバイスのユーザからメディアアセットに関するフィードバックを受信するためのシステムであって、

ウェブサイトと関連し、該第 1 のユーザ機器デバイスから遠隔にある、コンピュータであって、

第 1 の電子通信を受信することと、

該第 1 の電子通信の受信に応答して、該メディアアセットのフィードバックがユーザによって提供されることを示すデータをメモリに記憶することと、

該ユーザが第 2 のユーザ機器デバイスで該ウェブサイトにアクセスしたことを検出することと、

該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示すデータが該メモリに記憶されているかどうかを決定することと、

該決定に応答して、該メディアアセットのフィードバックについて該ユーザを促す、第 2 の電子通信を該第 2 のユーザ機器デバイスに提供することと、

該第 2 のユーザ機器デバイスから該メディアアセットのフィードバックを受信することと

を行うように構成される、処理回路

を備える、コンピュータ

を備える、システム。

(項目 6 7)

前記処理回路は、前記メモリの中のフィードバックキューに入力を追加するようにさらに構成され、該入力、前記メディアアセットのフィードバックが前記ユーザによって提供されることを示す前記データに対応する情報を含む、項目 6 6 に記載のシステム。

(項目 6 8)

前記第 2 のユーザ機器デバイスは、表示デバイスと、制御回路とを備え、該制御回路は、メディアアセットのフィードバックを提供する選択肢を該表示デバイス上に表示し、前記ユーザから、該フィードバックを提供する選択肢の選択を受信するようにさらに構成される、項目 6 6 に記載のシステム。

(項目 6 9)

前記処理回路は、

少なくとも 1 つの入力が前記メモリの中のフィードバックキューに追加されているかど

うかを決定することであって、該少なくとも1つの入力は、前記メディアアセットのフィードバックが前記ユーザによって提供されることを示す前記データに対応する情報を含む、ことと、

該フィードバックキューから該少なくとも1つの入力を取り出すことと
を行うようにさらに構成される、項目66に記載のシステム。

(項目70)

前記第1の電子通信は、前記ユーザの識別子と、前記メディアアセットの識別子とを含む、項目66に記載のシステム。

(項目71)

前記メディアアセットの前記識別子は、前記メディアアセットのタイトルを含む、項目70に記載のシステム。

(項目72)

前記メディアアセットのフィードバックは、テキスト形式で前記第2のユーザ機器デバイスから受信される、項目66に記載のシステム。

(項目73)

前記第2の電子通信は、前記メディアアセットのタイトルと、前記メディアアセットの承認または不承認の理由を表すフィードバックを前記ユーザから受信するためのフィードバックフィールドとを含む、項目66に記載のシステム。

(項目74)

前記第2の電子通信は、Eメールまたはテキストメッセージである、項目66に記載のシステム。

(項目75)

前記第2の電子通信は、いずれかまたは両方のアセットを表す写真またはビデオクリップを含む、項目66に記載のシステム。

(項目76)

前記第2のユーザ機器デバイスは、表示デバイスと、前記メディアアセットのフィードバックを要求する視聴者に対する警告を該表示デバイス上に表示するように構成される制御回路とを備える、項目66に記載のシステム。

(項目77)

前記第2のユーザ機器デバイスは、表示デバイスと、複数のフィードバック選択肢を該表示デバイス上で表示し、該フィードバック選択肢のうちの少なくとも1つの選択を受信するように構成される制御回路とを備える、項目66に記載のシステム。

(項目78)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも1つは、前記ユーザが前記メディアアセットの承認または不承認の理由を表すことを可能にするためのテキスト入力フィールドを含む、項目77に記載のシステム。

(項目79)

第1のユーザから、第1のメディアアセットへのアクセスを制限する第1の動作を受信する手段と、

第2のメディアアセットに対して行われる第2の動作を受信する手段であって、該第2のアセットは、該第1のアセットの属性と同様である1つ以上の属性を有する、手段と、

該第1の動作が該第2のアセットのアクセス可能性と一致しないことを検出することによって、該第1の動作と該第2の動作との間の不一致を検出する手段と、

該第1の動作と該第2の動作との間の該不一致に関して該第1のユーザに警告する手段と

を備える、装置。

(項目80)

いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ手段、または、いずれかまたは両方のアセットに関連するスポンサ手段に、検出した不一致を報告する手段をさらに備える、項目79に記載の装置。

(項目 8 1)

いずれかまたは両方のアセットに関して以前に送信された他のレポートを視認する選択肢を、前記第 1 のユーザに提供する手段をさらに備える、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 2)

前記第 2 の動作は、ユーザによって行われる動作である、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 3)

前記第 2 の動作は、前記第 1 のユーザとは異なる第 2 のユーザによって行われる動作であり、

前記第 1 の動作と該第 2 の動作との間の不一致を検出する手段は、該第 1 のユーザと関連する第 1 のプロフィールを、第 2 のユーザと関連する第 2 のプロフィールと比較することを含む、

項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 4)

前記第 2 の動作は、利用可能なアセットのデータベース手段への前記第 2 のアセットの追加、または該第 2 のアセットの 1 つ以上の属性の修正である、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 5)

前記第 1 の動作を逆転させるように前記第 1 のユーザを促す手段をさらに備える、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 6)

前記第 1 の動作に起因する変更の適正な一部を取り消すように前記第 1 のユーザを促す手段をさらに備える、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 7)

前記不一致の理由に関する情報を供給するようにユーザを促す手段をさらに備える、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 8 8)

前記情報を供給するようにユーザを促す手段は、複数のフィードバック選択肢を表示する手段を備え、前記装置はさらに、該フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つのユーザ選択を受信する手段を備える、項目 8 7 に記載の装置。

(項目 8 9)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つは、前記第 1 または第 2 のアセットに関するフィードバックを提供し、該フィードバック選択肢は、猥褻、評価の不正確性または不適切性、少数派または女性にとっての不快、宗教的不寛容、差別、動物虐待、および不道徳に関する選択肢から成る群より選択される、項目 8 8 に記載の装置。

(項目 9 0)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つは、前記ユーザが前記第 1 または第 2 のアセットに対する評価または副評価を提案することを可能にする、項目 8 8 に記載の装置。

(項目 9 1)

ユーザから前記不一致の理由に関する情報を受信する手段と、

いずれかまたは両方のアセットのコンテンツプロバイダ手段、または、いずれかまたは両方のアセットと関連するスポンサ手段に、該受信した情報を供給する手段とをさらに備える、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 9 2)

前記第 1 のユーザが前記第 2 のアセットへのアクセスを制限することを可能にする手段を含む、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 9 3)

前記第 1 のアセットの属性と同様である前記第 2 のアセットの属性は、評価、副評価、ジャンル、シリーズのメンバーシップ、お気に入りのメンバーシップ、ブックマークした状態、タグ付けした状態、D V R 視聴状態、サービスの種類、チャンネル関連性、ウェブサイト関連性、または一般視聴状態である、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 9 4)

前記第 2 のアセットの属性は、前記第 1 のアセットの属性の値と同等である値を有する、項目 9 3 に記載の装置。

(項目 9 5)

前記第 1 のアセットの属性と同様である前記第 2 のアセットの属性は、前記第 1 のアセットに対して、フィードバックが以前に提供されているかどうかを示す状態である、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 9 6)

前記第 2 の動作は、不動作である、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 9 7)

前記不動作は、前記第 2 のアセットへのアクセスを制限しないことを含む、項目 9 6 に記載の装置。

(項目 9 8)

前記不一致を検出する手段は、
メモリ手段から前記第 1 のアセットに関連する第 1 の一式の属性を取り出す手段と、
複数のアセットの間で、該第 1 の一式の属性と同様である 1 つ以上の属性を有する前記第 2 のアセットを検索する手段と、

前記第 1 の動作を、該第 2 のアセットに関して行われる前記第 2 の動作と比較する手段と、

該比較および該同様である 1 つ以上の属性に基づいて、該第 1 の動作が該第 2 の動作と一致しないかどうかを決定する手段と、

を備える、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 9 9)

前記第 1 の動作を該第 2 の動作と比較する手段は、

前記第 1 のアセットに対する第 1 のアクセス制限を設定する手段と、

前記第 2 のアセットが該第 1 のアクセス制限と同様のアクセス制限を含むかどうかを決定する手段と、

を備える、項目 9 8 に記載の装置。

(項目 1 0 0)

前記第 1 のアセットおよび前記第 2 のアセットに対応するアセット制限情報は、それぞれのアセット特性データ構造のフィールドに記憶される、項目 9 8 に記載の装置。

(項目 1 0 1)

ウェブサイトと関連するコンピュータに、前記不一致に関するフィードバックがユーザによって提供されることを示す電子通信を伝送する手段をさらに含む、項目 7 9 に記載の装置。

(項目 1 0 2)

前記電子通信は、前記ユーザおよび前記第 1 のアセットを識別する、項目 1 0 1 に記載の装置。

(項目 1 0 3)

前記電子通信は、さらなるフィードバックを提供する選択肢のユーザ選択に応答して、テレビ機器デバイス手段から伝送される、項目 1 0 2 に記載の装置。

(項目 1 0 4)

前記不一致に関するフィードバックは、テキスト形式で前記ユーザによって前記ウェブサイト提供される、項目 1 0 2 に記載の装置。

(項目 1 0 5)

第 1 のユーザ機器デバイス手段のユーザからメディアアセットに関するフィードバックを受信するための装置であって、

コンピュータ手段において、第 1 の電子通信を受信する手段であって、該コンピュータ手段は、ウェブサイトと関連し、該第 1 のユーザ機器デバイス手段から遠隔にある、手段と、

該第 1 の電子通信の受信に応答して、該メディアアセットのフィードバックがユーザによって提供されることを示すデータを記憶する手段と、

該ユーザが第 2 のユーザ機器デバイス手段で該ウェブサイトアクセスしたことを検出する手段と、

該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示すデータが記憶されているかどうかを決定する手段と、

該決定に応答して、該メディアアセットのフィードバックについて該ユーザを促す、第 2 の電子通信を該第 2 のユーザ機器デバイス手段に提供する手段と、

該第 2 のユーザ機器デバイス手段から該メディアアセットのフィードバックを受信する手段と

を備える、装置。

(項目 1 0 6)

前記メディアアセットのフィードバックが前記ユーザによって提供されることを示すデータを記憶する手段は、フィードバックキュー手段に入力を追加することを含み、該入力は、該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示す該データに対応する情報を含む、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 0 7)

前記ユーザが第 2 のユーザ機器デバイス手段で前記ウェブサイトアクセスしたことを検出する手段は、前記第 2 のユーザ機器デバイス手段において、メディアアセットのフィードバックを提供する選択肢を表示する手段を備え、前記装置は、

該ユーザから、該フィードバックを提供する選択肢の選択を受信する手段をさらに備える、

項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 0 8)

前記メディアアセットのフィードバックが前記ユーザによって提供されることを示すデータが記憶されているかどうかを決定する手段は、

少なくとも 1 つの入力がフィードバックキュー手段に追加されているかどうかを決定する手段であって、該少なくとも 1 つの入力は、該メディアアセットのフィードバックが該ユーザによって提供されることを示す該データに対応する情報を含む、手段と、

該フィードバックキュー手段から該少なくとも 1 つの入力を取り出す手段と

を備える、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 0 9)

前記第 1 の電子通信は、前記ユーザの識別子と、前記メディアアセットの識別子とを含む、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 0)

前記メディアアセットの前記識別子は、前記メディアアセットのタイトルを含む、項目 1 0 9 に記載の装置。

(項目 1 1 1)

前記メディアアセットのフィードバックは、テキスト形式で前記第 2 のユーザ機器デバイスから受信される、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 2)

前記第 2 の電子通信は、前記メディアアセットのタイトルと、該メディアアセットの承認または不承認の理由を表すフィードバックを前記ユーザから受信するためのフィードバックフィールドとを含む、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 3)

前記第 2 の電子通信は、Eメールまたはテキストメッセージである、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 4)

前記第 2 の電子通信は、いずれかまたは両方のアセットを表す写真またはビデオクリップを含む、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 5)

前記メディアアセットのフィードバックについて前記ユーザを促す手段は、該メディアアセットの該フィードバックを要求する視聴者に対する警告を表示する手段を含む、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 6)

前記フィードバックを受信する手段は、複数のフィードバック選択肢を前記第 2 のユーザ機器デバイス手段上に表示することと、該フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つを選択することを含む、項目 1 0 5 に記載の装置。

(項目 1 1 7)

前記フィードバック選択肢のうちの少なくとも 1 つは、前記ユーザが前記メディアアセットの承認または不承認の理由を表すことを可能にするためのテキスト入力フィールドを含む、項目 1 1 6 に記載の装置。